

はぐくむ

はぐくもう。子どもも、私も。



特集

中学生と本音でトーク！

「中学校生活」から

「どんな大人になりたいか」まで

●青少年に好ましくなるテレビ番組への取り組み
●エッセイ「10代のための映画講座」

2009.3
感動号
vol.2



社団法人 青少年育成広島県民会議

はぐくむ vol.2

2009年3月10日発行 発行／(社) 青少年育成広島県民会議 〒730-8511 広島市中区基町10-52 広島県民活動課内 TEL082-513-2742

はぐくむ Information

社団法人 青少年育成広島県民会議とは…

青少年育成県民運動の推進母体として、昭和41年の設立以来、次代を担う青少年の健全な育成を図ることを目的にさまざまな事業を行ってきました。

昨今の複雑多様化した青少年をめぐる問題に、国、県、市町の行政や青少年団体など関係機関と連携し、県民総ぐるみの育成運動として取り組んでいます。あいさつ・声かけ運動、少年の主張、夢配達人プロジェクト事業、青少年育成カレッジなど幅広い内容です。

〈概要〉

設 立 昭和41年12月7日
法人格取得 平成2年10月21日
事業規模 31,620千円(平成20年度予算額)
育成基金 5億円(平成3年度設立)
会 長 上田宗阿(茶道上田宗箇流家元)

は し が き

第2号も、たくさんの方のご協力をいただいて完成しました。感謝申し上げます。

子どもがすくすくと成長している姿を見ると、こちらまで心が和みます。社会の中では、明るい話題が乏しいときですが、こんなときこそどこかの何かを模倣するのではなく、外国にはなくて日本にある。でも私たちが忘れかけている日本の良き面をもう一度、日々の暮らしの中で体現することで子どもたちに伝えていきたいものです。

あいさつ・声かけもその一つかと思います。ともに連携していきましょう。

(社) 青少年育成広島県民会議

〒730-8511 広島市中区基町10-52
広島県民活動課内
TEL 082-513-2742
FAX 082-511-2173
<http://www.hiro-payd.or.jp>

毎月17日
青少年の日

毎月 11月1日
第3日曜日 ひろしま
家庭の日 教育の日

会員加入のお願い

次世代を担う青少年が健やかに成長し、住みよい郷土を築いていくことは、県民すべての願いであり、責任です。

青少年育成広島県民会議では、県民の総意を集結し、青少年育成運動を幅広く展開しています。

そのため、県民のみなさまに県民活動の会員に加入していただくことで、直接・間接のご支援・ご協力をお願いするものです。

■賛助会員

会費／個人 年額1口 1,000円
団体 年額1口 10,000円

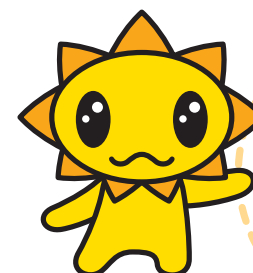
■正会員

会費／個人 年額1口 3,000円
団体 年額1口 5,000円

- 何口でも結構です。
- 機関紙「せとのあさ」、情報誌「はぐくむ」をお送りします。
- 会費の納入方法などは、事務局までお問い合わせください。

銀行
振込先

広島銀行県庁支店
口座番号／(普通) 233251
口座名義／(株) 青少年育成広島県民会議



広島県の青少年のマスコット
ゆっぴー

「ゆっぴー」は、府中町の小学生が太陽とライオンをモデルに、「元気に明るく育つ青少年」をイメージしてデザインしました。

- 02 特集／「少年の主張」で入賞した中学生3人と
(社)青少年育成広島県民会議 上田宗岡会長の

中学生と本音でトーク!

「中学校生活」から
「どんな大人になりたいか」まで

- 08 県民運動紹介
「あいさつ・声かけ運動」
「明るい家庭の日運動」

- 12 青少年に好ましくないテレビ番組への取り組み

- 14 県民会議Flash
青少年育成情報ネット「ゆっぴーネット」
夢配達人プロジェクト推進事業

- 16 いきいき地域活動紹介
青少年育成三次市民会議「里親事業」など
青少年育成くまの町民会議「土曜くまのっこ教室」

- 18 知のコーナー
テーマは「中学生の時期に関すること」(県立広島大学教員の寄稿)
思春期の子もたちと子育て～中学生のお子さんとの付き合い方～ 中島 通子さん
青年期の危機と家族の対応 藤巻 康一郎さん
思春期の子もたち～親の心 子知らずなのか、子の心 親知らずなのか～ 細羽 竜也さん

- 30 蔵本順子さんのエッセイ
10代のための映画講座「ハートに灯をつけて」

- 32 第2回青少年育成モニター調査 結果報告

はぐくむ vol.2

2009年3月10日発行

発行人／社団法人 青少年育成広島県民会議

企画・編集／社団法人 青少年育成広島県民会議
〒730-8511 広島市中区基町10-52 広島県民活動課内
TEL:082-513-2742 FAX:082-511-2173
URL: <http://www.hiro-payd.or.jp>

編集協力／東広島リビング新聞社



感動の回数が
創造力!

夢配達人プロジェクト推進事業:庄原市立峰田小児童がアサヒの森で環境学習を実施。全員で「マイ・フレンド」(歌手の原田真二さんが、同校児童のため作詞作曲)を合唱しているところ。



何度ものを頼まれても
“してあげた”という
気持ちが起きない人。
それは信じ合っている
ということだね。



上田 宗岡会長
(社) 青少年育成広島県民会議会長
茶道上田宗箇流家元

少年の主張で話したことと自分の夢

会長 さあ、冷めないうちにお茶を飲んでね。お菓子もどうぞ。秋の陽は優しいからいいよね。あれっ、お茶もう飲んだの。早かったねえ(笑)。それじゃあ、少年の主張でどんなことを話したか聞かせてくれますか？

三宅 小学校時代にいじめに加わったことを話し、いまは自分がどう思っているか、これからどうしていくのかを発表しました。

会長 そう。小学校のころのいじめが良くなかった、という思いが強いよね。いまからどうしていきたいの？

三宅 悪いと思ったことは、悪い、と言いたいのと思います。

会長 いじめのことは悲しかったことだ



きょうだいげんか。きょうだいげんかは無くならないよね。で、何人きょうだい？

三宅 2人。上が兄です。

会長 下じゃそりゃあー勝てんのか(笑)。しかし、きょうだいげんかはいいよ。けんかをする相手がいる、ということはいのことだよ。

それで、脇田君。夢の歌はどつ？ 自分としては可能性があると思っていますか？

脇田 微妙です。(笑)

会長 いつごろから思っていたの？

けども、じゃあこれまででうれしかったことは？

家の中でうれしかったこと、何か悲しかったことがあるかな？

三宅 うれしかったのは文化祭の合唱コンクール優勝。悲しかったのは、き

脇田 13歳ごろからです。この前、文化祭で歌ったんですけど、結構評判が良かったです。

会長 どういうふうな歌手、例えばこんな人とか？

脇田 人の心に響かせるような、そんな人になりたいと思っています。

会長 でも、食べれんよ、歌は。そういうこと考えたことある？ 食べられなかったらどうするか。その辺の自分の計画を教えてください。

脇田 アルバイト…。

会長 なるほど。で、大学まではちゃんと行きたいと思ってる？

脇田 はい。それと、もう一つ夢があって、看護師です。

会長 やっぱり人の役に立ちたいんだ。でも、看護師はハードらしいからね。よく聞かせてよ。

脇田 はい、そうですね。

会長 それで、少年の主張ではどんな話をしましたか？

脇田 2年の夏休みの間、上級生から暴力を受けて、それをバネにして自分が生徒会長になって学校を変えていきたいと思ったことです。

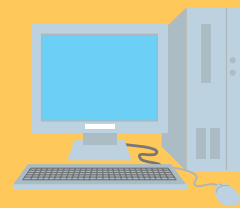
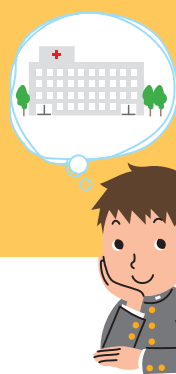
会長 暴力、そりゃいけないね。それをバネにして学校を変えていきたいと思ったのね。それは立派、極めて健全だね。

今から500年くらい前に、今のようなお茶の形をつくった人が260字くらいの文章を書いていて、そこに「心の文(こころのふみ)」

み」というのがあります。人を教えることについて書かれていて、まず自分よりダメな人のことを馬鹿にするな、差別をするな、あるいは自分よりできる人のことを嫉妬(しつこ)するな、など。自分より勉強やスポーツができる人を嫉妬する、これはとてもないことですよ。どう

いうことかという、友達の中でもあの人はずてきだねという人いるでしょ。その人に嫉妬するのではなく、そばに行つてその人に少しでも近づけるようにしないといふことです。自分よりダメな人には、そばに行つて一緒に階段を上るようにしないさい、と言っています。

これ、いい言葉だね。仏教の考えなんだけど、日本人の多くはそういつつに思っている。死ぬまで努力すれば成長するんですよ。この人はお茶の先生なんだけど、初心者の人と共に半歩でも一歩でも成長しようと言っている。これが原点。これがあれば、いじめをしたり、されたりすることはないだけだね。その後、もう一ついいことを言っている。そうはいってもライバルは大事で、あの人に負けたくないなあ、みたいな向上心は要るのよね。僕の場合だったら、あの人はいいい宗匠だなあと思う人、そんなライバルを見ると自分のダメなところが分かりますからね。「一緒に頑張りたいよ、うね」と言つて半面であの人には負けたくないと頑張ろうという気持ち。その両方ができれば、その人の



特集

「中学校生活」から
「どんな大人になりたいか」まで



中学生と本音でトーク!

江戸時代、広島城内にあった広島藩国老上田家上屋敷を当時のイメージに近い形で再現する改修が終わったばかりの茶道上田宗箇(そうこ)流の上田流和風堂(広島市西区)で昨年11月、「少年の主張」で入賞した中学生3人が書院の立礼席でお茶を頂きながら、(社) 青少年育成広島県民会議の上田宗岡会長(茶道上田宗箇流家元)と本音トークをしました。それは、建物の雰囲気もあって、子どもたちが師匠に教えをこう、寺子屋のようでした。



将来の夢は、歌手か看護師になることです
(脇田 直弥さん)

家族・友達・自分自身を大切に、将来は医者になる
(上野 結衣さん)

パティシエールになるのが私の夢です
(三宅 里佳さん)



三宅 里佳さん

周りには自然と人が集まり、その両方がある成長する。心が広がっていくんだけだなあ。

例えば脇田君が「学校を変えたい」といつのは、これではいけないという向上心。共に育ちましようというところ待っていてはいけないと思うんだから、これは向上心だからね。向上心はとても大事だからね。

さて、上野さんは少年の主張では「消費者の見極める眼(め)」がテーマだったそうだが、何でその言いごとを思ったの？
上野 この作文を書いた時、中国の餃子(ギョーザ)事件がすごく問題になっていて、それで自分の食生活をあらためて見直して、自分には何ができるのか、何を注意し合えば危険から身を守ることができのかを家族で話し合ったからです。

会長 お母さんは何で言っていましたか？
上野 お母さんは、私たちの健康を考え、て食事を作ってくれているんですけれど、こつこつ事件があったので、できるだけ国産品を食べるようにする、広島で作ら

れている野菜をできるだけ買うようにすると言っていました。

会長 忙しいとついつい簡単な物となりがちだけど、難しいな。ところで、将来の夢のお医者さんはどうして？

上野 私は小さい時、よく熱など出っていてお母さんにも心配をかけていました。注射などがすごく怖くて、そんなとき通っていた病院の先生がすごく優しくしてくれて、それですごくあこがれていました。そんなことで、小さいころからみんなを助けてあげたいという気持ちが強くて…。

会長 すごくね。そういうのがちゃんとあるのはいいよね。

大切にしているもの。友達のこつ

会長 三宅さん。大切にしているものは手紙ということですが、それは友達のですか？
三宅 私は小学5年生の3月に福岡から引っ越してきたんですが、そのころの友達と手紙の交換をしています。

会長 生涯で3人、本当の友達がもたらいいなあーってよく言っただけで、僕自身考えてみてもそうかもいれないなあ。本当の友達って、何度ものを頼まれてもしてあげたという気持ち起きない人。



それは信じ合っているということだよ。でも、そういう人って意外とできない。一概には言えないけど、小・中・高時代ができればいい。社会に出るといろんなことがあるから…。いまを大事に、そういう人たちと付き合っていくといいよ。将来を思っていて、そういうことではないんだけど、結果的にはそういうことになるのね。それで、のどを大切にしている脇田君、具体的にはどんなふうに大切にしているの？

脇田 実は正直に言うところ、アンケートにある「大切にしているものは何ですか」が思い浮かばなかったんです。先生に「どうしたらいいですか」と聞いたら、「のどって書いておけや」と言われて…。(笑)

会長 王元監督が現役のころは、どんなに暑くても熱い番茶を1杯しか飲まなかったそうだね。それくらい体を大事にしていた。プロの人って、それくらい体を大切にしているんだね。自分の大事なものを大事にしきれ人は、やっぱり成長するよね。みんな大切なものを持っているんだよねえ。上野さんは、家族や友達、

いるので生徒会の役員に立候補したといいますが、結果はどうだったの？

脇田 生徒会長になりました。

会長 それで、自分なりに学校がいへるか変わったと思えますか？

脇田 あまり変わってないです。

会長 周りの人はなんて言っているのかな？ 脇田君が生徒会長になってから変わったねえ、とか。

脇田 先生からは言われます。

会長 そりゃあ良かったね。先生から言われて自分はそう思わないと言っののは、とても謙虚な発言だね。

脇田 実はちよつと前まで大柿中学校は荒れていたんです。先生に暴力を振るうとか…。いまは、もつそんな暴力などはないです。

会長 生徒会長になって周りの人の見る目は変わった？ 「脇田君は生徒会長なんだから言っことを聞こつ」とか…。

脇田 全くないです。でも、いまの大柿中学校には自信があつて、「礼」は広島県一



脇田 直弥さん

だと思っています。

会長 どんな「礼」なの？ それにしても、一番だと思っていることがいいよね。思っていることが大事だよ。今もそう思っている？

脇田 はい。

会長 いいねえ。その一言がうれしいね。学校の「礼」にはどんながありますか？

脇田 「おはようございます」とか、頭を下げてする「礼」だよ。

会長 あいさつだね。あいさつというのは、少し難しいかもしれないけど、仏教用語です。漢字の「挨拶」の挨拶は相手に近く、開く、挨拶は迫る。だから、あいさつは、相手に近づき迫る、という意味です。第一印象は、あいさつで7割決まる。声を聞いたら分かるからね。「決まりきつたあいさつで何が人に伝わるのか」と言っ人もいますが、決まりきつた言葉だからこそ相手のことが分かる。相手のそのときの精神状態が一番出るのは慣用語です。慣用語は大切ですよ。

家庭での生活。大切なお手伝い

会長 ところで、家庭ではどんな生活をしていますか。お父さん、お母さんは頑張っているなあと思えますか？

上野・三宅 はい。

会長 あれ、脇田君は言わないね。お父

自分自身を大切にしているんだね。いろいろな状況があるだろうけど、いまは何が大切かな？

上野 友達です。

会長 そうなの。で、友達と一緒にの修学旅行はどこに行ったの？

上野 白川郷へ行きました。自然がすごくきれいで、昔から人々が伝えてきた工夫が家の中にありました。見るだけでなく分かつて、勉強になりました。

会長 昔、ある校長先生が創造するということについて言っていました。歌手もそうだし、お医者さんもそうだけど、三宅さんがなりたいたいパティシエールもそう。物を創つてくるという面で見ると、創造力のある子どもが昔に比べて少なくなっていると言っていたね。

僕も建物や庭などのデザイン、書を書くなど、ものを創る仕事だけれど、思うのは、やっぱり創造力は感動の回数だということ。いかに感動するか、その回数なのよ。それはテレビやインターネットではダメなのね。バーチャルではなく、今日の集まりのよつに目の前で実際にする。事務的なものは別として、「あー」と思う回数、その回数が人間に創造性をつけさせるんだな。できるだけ、いいと思うものは見てみる、お菓子だったら食べてみる。もう一つは、本物を見ていると自信がつくし、変なコンプレックスが無くなる。大切なことは、自分に自信をもつことです。



上野 結衣さん

さん、いま大変なの？

脇田 実は入院してて…。仕事の事故で下半身不随になつて…。

会長 じゃあお母さんは大変だね。家の手伝いはどうしているの？

脇田 ほとんどしてないです。

会長 お母さんを手伝ってあげないとね。僕はね、お父さんもおじいちゃんも原爆で死んだの。母一人に育てられていたけど、僕が高校1年の時に狭心症になって、お医者さんから「あなたが20歳までもちませんから大事にしてあげなさいよ」と言われて…。結果的に、いま思つと早く自立心がついたんだよね。お母さんを大事にしなければいけない。お母さんを一人で生きていかなければと思つて、すべし自立心がついたよ。

良い事も悪い事もいろいろあるけど、大事なものは、いま置かれている環境の中で、頑張つていか、お母さんを助けようとかだと思えます。ぜひやつてほしいな。それをするこは、あなた自身にとって



自立心を育てるという意味でプラスになるからね。現状から逃げないことだよ。大変なときに人に応援してもらった感謝の気持ちはその後ずっと生きていくからね。そういう経験をすると人に優しくなれるよね。ぜひ、お母さんを大切にしてください。厳しい状況の中でも一生懸命しているって、必ず誰かが見ているからね。必ず何かがあるからね。

三宅さんは、家のお手伝いとかをしていますか？

三宅 朝、洗濯物を干して、帰ってからたんで、夜はお米をこいで…。

会長 偉いな。お母さんは働いていらっしゃるの？

三宅 はい。

会長 あなたは自分が食べた後の食器を洗いますか？

三宅 はい。

会長 偉いね。僕も自分が食べたものは洗いますよ。見ていて大変そうだなあと、思うときに自分でやります。朝、掃除もするよ。

上野さんは家のこと、何かお手伝いをしますか？

上野 朝は忙しくてできないんですけど、夕食の準備とか、食べ終わった全員の食器や調理器具の片付けをしています。

会長 いいじゃない。やっぱりそういうとき、家の人と会話をするよね。お手伝いは本当にいいよね。



周囲の大人、先生や親に望むこと

会長 さて、周囲の大人、先生や親に望むことは何でしょう。先生に、もうちょっとこうしてほしいとかありますか？

三宅 あまり欠点とか無いんですけど、強いて言えばもう少し話を聞いてほしいと思います。でも、全体的に見ればいい先生です。

会長 親に対しては？

上野 ずっと感謝ばかりです。父は知的障害者の方を助ける仕事をしています。夜に私たちと食事する時間もあるので、家族みんなでトランプをしたりとかは結構あります。

会長 脇田君は、お母さんにこれ以上やっとなんて言えないなあ。食事なんかはどうしてるの？

なことをやっています」といえる自分でありたいと思います。

会長 そうありたいよね。僕らの時代は戦争で三分の一くらいはお父さんがいなかった。自立心も早くついた。でも、いまは違う。自分が何をしたいのかが20代で分らないようなら30代でも分からない。30代で分かなければ40代でも分からない。一生自分のやりたいことが分からなかった、で終わる人も出てくるかもしれない。それじゃあ残念なものなあ。

できれば20代に、自分が何をしたいか決めておきたいよね。百点満点の人生ってありたくない。これとこれのどちらかを選ぶとき、10と0はない。まあ6か4、7か3。決めるまでは精いっぱい悩んで、決めたら迷わずやる。20代ではぜひそうあってほしいねえ。僕らの若ころは高度成長期で、社会が全部受け入れてくれた。でもいまは社会が広がっていかないでしょ。ただサラリーマンになりたい、は目的があつて無いようなものだからね。恵まれているから役人になりたいと、昔はその程度の人が多かった。でもいまは、何となくでは社会が受け止めてくれない。そこが大変。自分がある程度決めざるを得ないでしょ。社会はそういう点ではゆとりがない。自分が決めたら、もう一つの方は思わないことだよ。

脇田 時々僕が作っています。

会長 そう、手伝ってあげないとなあ。僕のように何年か後にお母さんが死にますよと言われるとまた違うかもしれないけどね。高校時代、隣の部屋で寝ている母の寝息が止まると死んだのかと思うわけ。ふすまを開けてみる。そういうた漠然とした不安がちょっとあなたくらいいるにあつて、「ああ、早く大人にならなければ」と思っていたよ。

二十歳にはどんな自分になっていたいか

会長 二十歳になった時、どんな自分になっていたかと思えますか？ 脇田君は、のどを大事にした5年後はどうなっていたらいいなあと思ってる？

脇田 そういふのはあまり考えたことが無いんですが、大学には多分行っていると思います。

会長 家を出ても歌手になりたいとは思わないの？ 昔は、わらじを履いて、辛抱強く探し回って歩くことや、得難い物事の例え、と言っただけね。

脇田 親に反対されたら考えます。

会長 親が反対するのは、「食べられないんじゃないか」と思うのよね。やっぱり食べられないと大変だからね。親は普通に食べてほしいと思うのよね。親の愛情だよ。じゃ、親には歌手になりたいことを言っかないのね。

脇田 はい。

会長 二十歳になった時、会談してみたいね。わらじを履いているかどうかをね。で、仕事はさておき、どんな自分になりたいかと思ってるの？ いまは、生徒会長になつて学校を変えたいと思っているわけだね。

脇田 人の役に立つ人間になりたい。

会長 それは基本線として、すごくいいね。どんな仕事に就きたいというより、より根本の理念だものね。人間性みたいなものだから。60歳になつても、人の役に立つ人生を送りたい、と言えたらいいね。できればみんなそうありたいよね。

三宅さんは？

三宅 大学生になつていたらいいですね。会長 そのころには、お菓子はどつたっているのかな。お菓子の専門の学校に行きたいの？

三宅 5年先にそう思っているかは分からないですが、大学に行つて視野を広げると、ほかにももっとやりたいことが見つかるんじゃないかな。思っています。

今日の感想は？



—— 今日の感想は？

上野 将来へなことなど、上田先生からいろいろ教わったお話は本当に言葉がすごく重い。私もお茶をやっていますが、全然落ち着きがないんです。だから、静かな気持ちとか、そういう精神状態もしっかりと持つてやっていきたいと思いました。

会長 静かな気持ちはすごく大事で、いま世の中で何が欠けているかというところ、それは静かな心、静かな時間。社会全体、大人たちはどうでしょう。静かな心になることが自分にくから、気が付かないことに気が付いてきます。いまは自己主張ばかりの時代で、自分がいかに正しいかだけを主張する。でも、自己肯定だけでは物事は解決しない。静かな心があると、自分が行っていることはこれでいいのかと思う。僕も気を付けなければと思っていますよ。

三宅 「心の文」の話が残りました。自分より下だと思つた人を見下さず、自分よりできる人に嫉妬せず、一緒に上がつていく、そういう気持ちを持つていこうかなと思います。

会長 いい言葉でしょ。500年前にそう言っているのよ。学ぶというとは、そういうことだと言っている。しかも、同時に向上心も大切。教育の原点のような話ですよ。

脇田 僕は上田先生が言われた「創造力は感動の回数」という言葉が心に響きました。これからも感動をいっぱい見て、していきたいと思います。

会長 それにしてもインターネットが心配だよ。あれは、なま、ではないからね。知識としては要ると思うけど。僕も、日々感動を求めて動きますよ。今日、こうして話している中にも感動はいくつもありましたからね。君たちとの話は、とてもさわやかでいいなあと思いましたよ。

—— 外界と切り離れた静かな空間での話は尽きないようですが、そろそろ時間が来ました。今日はどうもありがとございました。

〈事務局から〉

和風堂から最寄りの電停まで、脇田さんと一緒に帰りました。彼がふと違う方向へ向かうのでいぶかしく思っていますと、道路に落ちていた紙コップのようなものを持って何事もなかったように歩いてきます。これには大人の私のほうがショックでした。口では「本音論」を述べますが、実践してこそ意味があることをこの無言の行為であらためて教えられた思いです。今日は、対談前から帰るときまでいろいろな気付きをもらつたことに、3人から未来の明るさを予感し、また、宿題ももらつたよかったです。

特選

小学校高学年の部

三原市立中之町小学校 6年

丸山 珠由さん

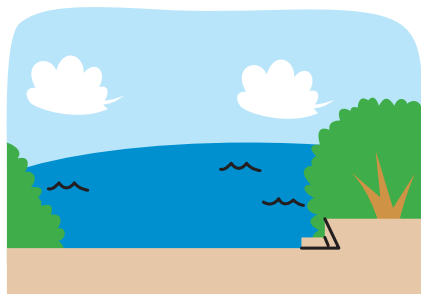
お墓参り

8月2日、おじいちゃんの七回忌の法要がありました。この日は、めったに会う事のないおじいちゃんの姉や妹にあたる、おばさんやおじさんが、岡山から来てくれました。12時におぼっさんが来て、お経を読んでもくれました。30分も正座していたので、足の感覚がなくなりました。いよいよお焼香が私の番に回ってきました。少しきん張りました。お経が終わると今度はお墓に行つて、またお経を読み今度は線香をあげます。このお墓には、おじいちゃん他におばさんが眠っています。お墓は、一番頂上に建っていて、尾道商業高校と海がとってもきれいながめられま

をしてさっさと帰ろうとした時です。お母さんが火のついたように怒りだしました。 「あんた、そんなお参りの仕方ないやろ、もう一回やり直ご。」 と怒りました。

お母さんは、元は大阪の人で、関西弁が出た時は、怒りのレベルがぐぐういだと思わないといけません。お兄ちゃんは、ブツブツ言いながらお墓に、手を合わせ直していました。

「ご先祖様や周りの人に助けられて生活



してるんだから日々に感謝せんといけんよ。お兄ちゃんの一人で生きて来たような顔に腹が立ったんよ。」 とお母さんは言いました。

でも、私は、『千の風になつて』で、『ごっこ』私はいません、眠ってなんかいません』と歌っているくらいだから、『おじいちゃんはお墓にいないんじゃない?』と思いましたが、とてもおそろしくてお母さんに話す勇氣はありませんでした。

お参りがすむとお母さんが私の手を力強くぎゅぐゅにぎって

「またごようね。」 と大きく笑って言いました。私は 「ご。」 と笑い返しました。

帰り道風に乘つて、おじいちゃんの笑い声が聞こえた様でした。

特選

中学校の部

如水館中学校 1年

高橋 星砂さん

私の家族

わが家は五人家族です。父・母・二人の兄そして、末子が私です。私の家族の自慢できる事について考えました。

一つ目は、私達の名前です。両親は海が大好きなので兄弟三人共、海に関連する名前をつけています。一番上の兄は舟、二番目の兄は海月、そして私は星の砂からとって、星砂です。ひいおばあちゃんは、 「いなか(変な)名前じゃなあ。」

と、言っていたんですけど、私達三人は、自分の名前が大好きです。

二つ目は、皆、大自然が大好きで、水や電気がない生活でも、たえられる事です。今は、クラブ等で長い休みが取れませんが、小さい頃から、毎年夏は、一週間近く自然の中で自給自足のテント暮らしをしました。川のせせらぎの音で目覚め、日中は食料調達のため、魚釣りをし、時間を見る事なく、太陽の位置を見ながら生活するのは、大変楽しいですが苦勞も何十倍もあります。しかし、自然の力を利用する事や、生活の知恵を学ぶ事のできる貴重な体験ができます。家族との協力の

大切さを学ぶこともでき、

夏が来ると皆、

「キャンプに行きた〜い」と言っています。

三つ目は、家族の絆が強い事です。学校や会社からそれぞれ帰って来ても、自分の部屋に帰らず、皆一つの部屋に集まって来て、一日のあった事を話して笑い合っています。皆が大笑いをしている時が、一番私は、幸せを感じます。こんなひとときを家族全員が大切にしているのも、五年前の父の病気があったからだと思っています。

私の父は、五年前に白血病という病気になるしました。いつも元気で、家族を支えてくれた父が突然入院しました。無菌室という特別な所での治療だったので、月に一度の面会しか許してもらえませんでした。だから、その日が来るのが楽しみで、面会の日は、朝からそわそわしていました。しかし、久しぶりに見る父は、やせて



髪も抜けて、他の人みたいで、涙が出そうでしたが、父の笑顔は、やはり、いつもの優しい父の顔で安心しました。

学校の事、友達の話、一カ月分の話を見第三人が、われ先に…と話をしました。面会を終えて帰る時が一番つらかったです。でも、帰る私達より、病院に残り見送る父が一番つらかったのだ

と思います。バイバイと手を振りながら、父のほえんだ顔を頭に焼きつけ、また一ヶ月、また一ヶ月と、頑張っていました。

治療を終えて、父は無事退院する事ができましたが、五年間は再発する可能性があるあるといわれ、毎月血液検査に行っていました。受診の度に母から、

「検査結果OK!! だつたよ。」

という、メールが届くのを楽しみに待っていました。六十回のOK!!メールを重ね、父は再発する事なく、無事完治しました。

私達家族は、とてもつらい経験をしたましたが、良かった事も学んだ事も、たくさんあります。どこの家族にも負けない強い強い絆は、父の病気があったからこそだと思つし、私の家族なら、何でも乗り越えられる気がします。こんな今の私の家族が、私にとっての宝物です。

入選

福山市立

常石小学校 2年

三須 天真さん



大きな木の下でかぞくみんなで遊んでいる絵です。

入選

三原市立

南方小学校 4年

西田 真菜さん



キャンプ場でゲームをしているところです。

入選

広島市立

牛田小学校 4年

平岡 優希さん



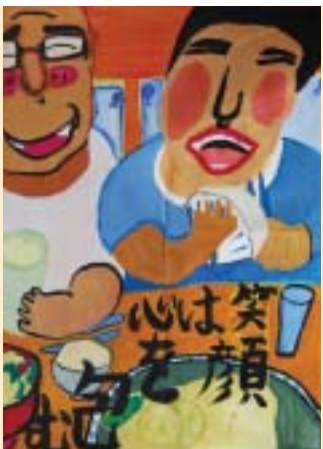
健康とエコのために家族で始めました。

入選

広島市立

牛田中学校 1年

池田 薫さん



この絵は、おじいちゃんと僕が楽しく食べている絵です。

「子どもの生活の中で、テレビは…」

青少年に
好ましくない
テレビ番組
への取り組み

社団法人青少年育成広島県民会議では、平成17年度から青少年を取り巻く環境整備の一つとして「青少年に好ましくないテレビ番組」の問題に取り組んできました。平成20年も17年、19年の調査に続き、県内のPTA、小・中・高等学校、専門学校の協力を得ながら4地域で3回目のアンケート調査を実施し、子どもたちがどのようにテレビを見ているのかの実態把握を行うとともに、保護者、教職員にもテレビ番組に関する調査を行いました（総計997人）。

視聴時間の傾向は…

寄せられた有効回答のうち、「1時間以内」この回答を1時間、「5時間以上」との回答を5時間として、平均の視聴時間を求めました。その結果、平日の小・中学生の平均視聴時間数は小学5年生が2.8時間、中学2年生が2.9時間と、19年の調査とほぼ同じ結果となりましたが、高校2年生では19年が1.9時間であったのに対して、今回は3.6時間と大幅に増えています。

休日では小・中学生が平日よりも増えているのに対して、高校生は平日でも休日並みの視聴時間の長さであることがわかります。

（「全く見ない」との回答は、平日で高校2年生1人、専門学生2人、休日で専門学校生が2人でした）

休日は平日に比べて視聴時間が長くなりが、5時間以上の視聴が全体で3割、専門学校生では4割で、前回の調査と比較しても大幅に増えている、休日の過ごし方について考える必要があると思います。

（※表1を参照）

	小学5年生	中学2年生	高校2年生	専門学校生
平日	2.8	2.9	3.6	4.0
休日	3.5	3.7	3.5	3.4

表1 学年別・平均視聴時間（単位：時間）

テレビをいつ、どれくらい視聴しているか

小学校5年生・中学校2年生・高校2年生専門学校生に対して、日ごとの視聴時間を平日・休日別に尋ねました。

視聴時間帯のピークは平日の19時から21時までの時間帯で65.7％、次いで21時から23時までの時間帯で57.6％でした。休日では18時から21時までの時間帯で

71.8％、21時から23時の時間帯で62.7％が視聴。平日に比べると遅い時間帯が多くなっています。

これを学年別に見てみると、平日21時以降の時間帯に小学生3割以上、中学生6割以上、休日では小学生で4割以上、中学生では7割近くの視聴があり、「深夜型」というライフスタイルが定着している様子がつかえます。

（※図1～4を参照）

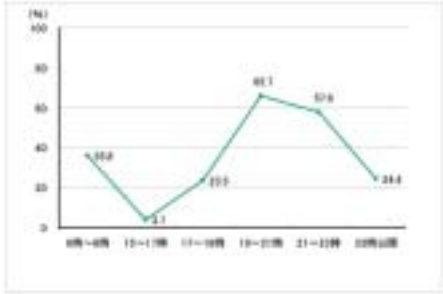


図1 視聴時間帯(平日)

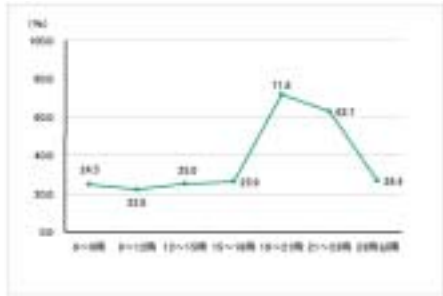


図2 視聴時間帯(休日)

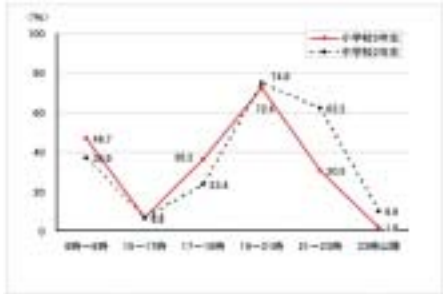


図3 小中学生の視聴時間帯(平日)

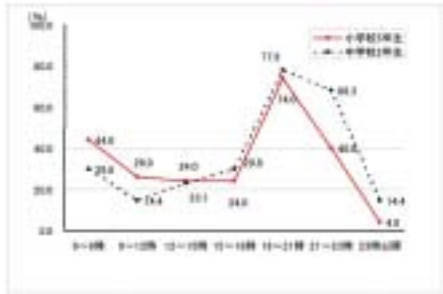


図4 小中学生の視聴時間(休日)

子どもたちが好きな番組と保護者が見せたい番組は一致するの？

子どもたちがどのような番組を好んで視聴しているのか、過去に行われた調査（社）日本PTA全国協議会「子どもメディアに関する意識調査」を参考にいくつかの番組を提示し、大人見る番組とその理由を尋ねました。

小学5年生でのトップは「クイズーヘキサゴン」でなんと70.8％の児童が「よく見る番組」として回答。中学2年生でもトップは「クイズーヘキサゴン」で52.1％、高校2年生では「リンカーン」がトップで50.7％、専門学校生では「めざましテレビ」がトップで49.0％です。

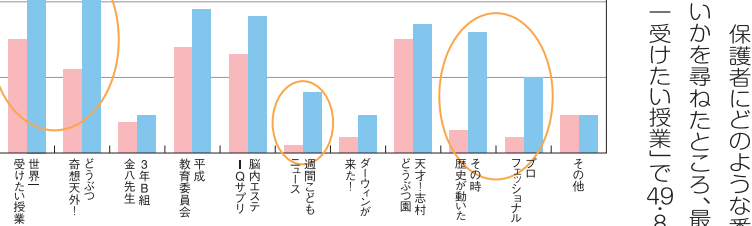


図5 親の願いと子どもの視聴実態(小中高校生とその保護者:複数回答)

「受けたい授業」で49.8％、ほぼ半数の保護者の支持を得ています。一方で「奇想天外」（41.1％）、「平成教育委員会」（38.4％）、「脳内エステーQサブリ」（37.5％）、「天才志村どうぶつ園」（35.4％）、「その時歴史が動いた」（33.9％）と続いています。選んだ理由としては「知識が豊富になる」

「役に立つ」が多く挙げられました。

反対に、子どもに見せたくない番組についてたずねたところ、もっとも多かったのが「ロンдонハービー」34.8％、ついで「志村けんのかかし殿様」27.0％、「タウンスタウンのかきの使いやあらへん」18.6％、「クレヨンしんちゃん」17.1％、「めざましテレビ」16.8％と続きます。見せたくない理由としては、「内容がばかばかしい」が圧倒的に多く、「言葉が乱暴である」「いじめや偏見を助長する場面が多い」と続きます。番組によっては、親の思いと子どもの視聴実態は大きな開きが見られます。

（※図5を参照）

誰がテレビを見るのか

全体では42.7％が「家族と一緒に」と回答しました。年代が上がるにつれて「一人で」の回答が増えており、専門学校生では43.9％が「一人で」回答しています。

子どもに与える影響は…

保護者にテレビが子どもに与える影響について尋ねたところ、全体の9割以上が何らかの影響があると考えています。具体的な影響としては「言葉（かた）」「いじめ」になる」が多く挙げられていました。

…自由回答（※以下、原文のまま入力）…

《保護者の意見》

●お笑いのギャグや乱暴な言葉が流行ったりするのは困る。

■まとめ■

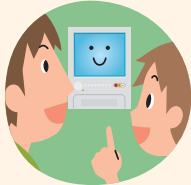
情報化社会と言われて久しい今日、テレビをはじめとするさまざまな電子メディアから流され続けている大量の情報の中、それらの価値を見極め、自分にとって必要なものを上手に取り入れていくことは、大人の私たちでさえなかなか難しいことです。ましてや判断基準が未熟な子どもたちにとって、良きにつけ悪きにつけ、テレビは心の成長に大きな影響を与えるものであると言っても過言ではありません。この実態を、テレビ局・スポンサーなど関係の方々に提供し、青少年が視聴している時間帯の番組制作について再考を要請しました。一部改善された部分もありますが、全体的に見ると十分な状況とはいえません。

放送倫理・番組向上機構「放送と青少年に関する委員会」の機能のさらなる発揮を願います。

また、一方では便利で豊かな生活を助けてくれるツールであるテレビを、一概に悪者扱いするのではなく、賢く利用していくために、子どもたち自身はもちろん、子どもたちを取り巻く私たち大人も、これからのテレビとのより良いつき合い方を考えていかなければと思います。

アンケートを見ると小学生の半数以上が家族と一緒にテレビを見えますから、周りにいる大人が子どもを導く場としてくださることを強く望みます。

4年間の取り組みを振り返りますと、一気に変革をしていくことの難しさを感じておりますが、青少年をよい環境の中で育てためには、情報の発信側と受け手の双方の努力が必要です。テレビだけでなく、子どもたちの身近にある各種の情報媒体にも注意していきましょう。



夢配達人プロジェクト推進事業

～子どもたちの夢を地域のみんなで実現させました!～

H19年度に採択され、
H20年度に実現(予定)の『夢』



廿日市市

先生・在校生らに感謝の気持ちを込め、学
校生活をテーマにしたミュージカルを上演。



大竹市

ALSOKホールで、手作りの竹楽
器のオーケストラを演奏しました。



尾道市

日本一大きなペットボトルツリー(高さ
24m)が御調の夜を彩りました。



広島市

大山登山に見事成功。山頂で、支援して
頂いた方にバイオリンを披露しました。



北広島町

8月7日(花の日)にヒマワリの花畑迷路
が完成し、地域の人に披露しました。



庄原市

環境をテーマにした絵本が完成し、みん
なで発表しました。



世羅町

完成したビオトープに地域の魚のタモ
ロコ、メダカを放流しました。



神石高原町

町を舞台にした絵本が完成。地域の人
に披露しました。

青少年育成情報ネット「ゆっぴーネット」

「多くの青少年に体験活動へ参加してほしい」

「地域の青少年育成活動の後押しをしたい」

そんな思いから、青少年育成情報ネット「ゆっぴーネット」を開設しました。

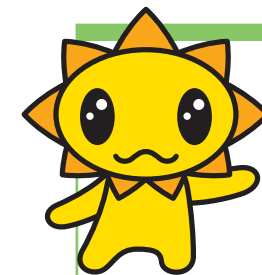
ホームページで情報発信中!



<http://www.hiro-yuppy.net/>

興味のある活動
を探す!

地域で活動する
団体のPRの場
として!



ゆっぴーネット

青少年育成情報ネット

サイトの内容

中学生や高校生対象
の活動もあるよ!

- 子どもの体験活動情報
(ジャンル別、月別、対象年齢別、地域別に検索可能)
…自然体験キャンプ/ものづくり教室/科学体験
など
- 青少年育成活動を実施している団体の情報
…NPO/ボランティア団体/体験活動施設
など
- 保護者や育成者対象の催しのお知らせ
…講演会/大会/研修会
など
- 青少年育成活動にかかわるボランティアの募集情報
…キャンプの指導者/サイエンスボランティア
など
- 子どもの体験活動についての実施状況レポート
…体験活動のプログラム内容/工夫した点/感想
など

県民運動

Flash

青少年育成広島県民会議が行った
活動を紹介します。



体験活動の例:広島アウトドア研究会による
パイオニアキャンプ2008

***** 掲載情報も随時募集しています! *****

ホームページに掲載の、情報の申込シートに記入し、(社)青少年育成広島県民会議へ、メールまたはFAXで送付してください。

詳しくはホームページをご覧ください。

(社)青少年育成広島県民会議 FAX:082-511-2173 Eメール:kenmin@hiro-payd.or.jp

詳しい取組状況は、県民会議のHPをご覧ください。<http://www.hiro-payd.or.jp/yume/19.html>

MIYOSHI
4

宮沢賢治語り芝居

平成20年10月18日(土)、吉舎中学校体育館で宮沢賢治語り芝居の公演を開催しました。

大勢でやるのが演劇だと思われていた人には、3人ですべてをこなす団員に驚かれたことでしょう。公演も終わりに近づくにつれ、会場みんなが賢治の世界へ誘われていきました。



MIYOSHI
5

備北地区 中学生意見発表大会

8月20日(水)、三次市、庄原市内から20校38人の中学生による第21回備北地区中学生意見発表大会を開催しました。

この大会は、学校でのさまざまな出来事や家族とのふれあい、地域とのつながり、日本から見た外国など、日ごろから感じていること、体験したことなどを自分の考えとしてまとめて多くの皆さんに聞いていただく場です。発表した中学生は、満員の会場の舞台に立ち、生き生きと自分の意見を発表していました。



KUMANO

青少年育成くまの町民会議 「土曜くまのっこ教室」

熊野町の小学生を対象として、「土曜くまのっこ教室」が月2回(第1・3土曜日)、熊野町公民館で開催されています。会員数は70人で、毎回平均50人の参加があり、昔遊びを中心としてリトミック、体操、パネルシアター、料理作りなどを行っています。「昔遊びは楽しい。難しいことも多いが、できないことができたときはとてもうれしい」と子どもも活動に意欲的で、協力をしてくれる地域の方からも「子どもと接していると元気もらい、健康になる」「孫ができたようだ」と好評。地元の高校生の協力もあり、高齢者、成人、青年、学生などとの世代間交流につながっています。また、子どもたちの料理作りへの関心もアップ。料理の準備段階から自主的に手伝う子どもの姿が見られるなど、食育についても成果が上がっています。



いきいき 地域活動紹介

県内各地の市町民会議が行う、趣向を凝らしたイベントの数々。
今回は、青少年育成三次市民会議と
青少年育成くまの町民会議の活動を紹介します。

MIYOSHI
1

青少年育成三次市民会議 「里親事業」の開催!

地域の中でも、子どもと話をする機会が少なく、子どもたちのことを案外知らない大人もいます。地域の子どもは地域で育てるために、地域のつながりを強め、人々とのふれあいの時間を多く持つよう、平成20年から新たに「里親事業」と名を打って、川遊びを通して川の環境を考えること、また、海水浴などをして、お互いを知り合う取り組みを始めました。

7月27日(日)の海水浴は、島根県の久手海岸でボートに乗ったり、地元の野菜を使ったバーベキューを楽しみました。8月30日(土)の川遊びは、雨のため、青河小学校のプールでサンショウウオの観察と魚のつかみ取りをしました。初めて体験する子どもも多く、魚を捕まえるたびに歓声が上がっていました。子どもたちは、こうした様々なふれあい体験を通して、地域の大人たちをより身近な存在に感じてくれたことと思います。



MIYOSHI
2

川と親しむ会

今年(平成20年)で6年目となる、酒屋地区青少年育成事業で1番人気の「川と親しむ会」を7月20日(日)に開催しました。草刈り、防護ネット張り、安全監視員の配置、安全指導、救護所の設置など危険防止のための準備を整え、子どもたちは、鮎(あゆ)のつかみ取り、いかだ作り、水鉄砲作りなど地域の方の協力を得て、貴重な自然体験をしました。

事業終了後は、参加者全員で、会場や川の清掃、ゴミの分別をし、これまで以上に美しい環境にしました。子どもたちは、自然体験活動を重ねるごとに、自然を大切にする心が育ってきています。



MIYOSHI
3

2回目の「ホタル祭り」実施!

子どもたちは、環境問題についての取り組みの中で、木乗(きのり)川にホタルが生息するようにと竹炭による水質改善や検査を実施するなどし、夏にはたくさんのホタルが飛び交うようになりました。

この取り組みを支援するため、平成19年から「ホタル祭り」を実施し、今回は命の尊さ・友達の大切さなども考えてもらおうと、6月21日(土)に映画「とべないホタルPipi」を上映しました。





思春期の子どもたちと子育て

中学生のお子さんとの付き合い方

お話 ● 中島通子さん

知のコーナー

* 中学生の時期に *
関すること



【なかしま みちこ】
県立広島大学 保健福祉学部
看護学科教授
専門分野:性・助産
キーワード:思春期・性

I 中学生の子どもたち

中学生のお子さまを育てられている親御さんは、「難しい年ごろ」「いったい何をやっているのや」「聞いたら怒り出す」など、このように接したらよいのか迷っておられる方が多いようです。親御さんも通って来た道なので、がぶつてでしよつか？

この時期の子どもたちは、親から離れ、一人の行動や友人との行動が多くなり、親は子どもの気持ちや行動を把握しにくくなっています。

一体思春期とはどのような時期なのでしょう？

II 思春期とは…

やパートナーとして異性への関心の高まりなど、精神面において飛躍的に成熟する時期であると述べています。

*「私たちは、いわば2度この世に生まれる、一度目は存在するために、2度目は生きるために。」『ヒール』

子どもと大人の世界の移行期でもあり不安的な存在であり、迷いながら自我を確立していく時期でもあります。揺れ動く心、不安、悩み、葛藤を経験している子どもたちの具体的な心理や行動について述べていきます。

子どもの身体的発達やその変化は、精神的発達に先駆け、かなり早くから始まっています。おおよそ10歳すぎから12歳ごろにかけて第2次性徴が発達し始め、14歳から16歳ごろにはほぼ身体的な変化が終わり、17歳ごろまでに身体面での性的成熟は完了します。【資料Ⅱ(松本1967)(井上1976)】。中学時代は、思春期、青年前期と学者によつていろいろな分類がありますが、思春期は医学的に言えば、幼少期から性成熟期への移行期であり、大人でも子どもでもない宙ぶらりんの発達過程にあるといえます。

どの時代、どの場所でも第2次性徴を始まりとした身体的成熟期として思春期はやってきます。そして精神的な能力についてもしかり、成人への扉は開

人間発達期の区分から見ますと、青年期は前期と後期に分かれます。

青年期前期は表1のように12～18歳の時期のことをいい、この青年期前期は一生の中で身体的、精神的に最も成長発達している時期と言われています。

また、この時期は**思春期**ともいわれ、第2次性徴の現れや、自我に目覚め、確立へと発達してゆきます。自我が発達してこの殻を破るうとしてさまざまな葛藤(かっとう)を経験します。もう少し思春期のことについて触れておきます。

思春期(英語puberty)とは、人間の生殖機能・生理的機能が成熟し、心身ともに子どもから大人に変化する時期のことであり、医学的には「第2次性徴の始まりから成長の終わりまで」と定義されています。発育の時期は栄養状態や運動量などからも何歳あたりからと

は必ずしも一定せず個人差にも左右されます。身体面では男の子では、喉仏のどぼとけが大きくなり、声変わりする、

髭(ひげ)が生え始める、陰毛が生え始める、性的興奮すると勃起するようになり、射精もできるようになります。

女の子においては、胸が膨らみ始める、陰毛が生え始め月経が始まるといった変化が起こります。では心理面ではどうでしょう。この時期は、自我の目覚めから、反抗期が始まる時期でもあります。また性への目覚めが見られ、異性の身体や性に関する行為にも興味を持ち始める時期でもあります。ルソー(Rousseau,J.J.)がその著書*『エミール』の中で青年期における自我の目覚めについて述べた言葉の中に、第1の誕生は母体から肉体として生まれ出る

こと。第2の誕生は自我意識の芽生え

III 中学生(思春期)の心理や行動(言動)…

① 気持ちのコントロール

これは、自分の頭では「こつしないといけない」と分かっているのに、なかなかできなくて、感情のまま流されやすくなってしまうことがあります。

インターネットの出会い系にアクセスするのは危険だということは重々分かっているのですが、どんなものか試してみたくて仕方ない。「大丈夫、自分なら対処できる」と思ってしまうようです。

② バランス

お洒落(しゃれ)に関心が出てきて、外見にはすごく拘(こ)わ(た)わ(る)のに、見えない部分はいい加減になる、というようなアンバランスなところが見られるります。

また、同じ外見でも、服装にはすごく拘(こ)るのに、髪型は少々寝癖がついていても、気にしない。スカートの丈を短くするのが流行(はや)ると自分も遅れてはいけないと思ってしまうたり、モデル体型にあこがれてダイエットに走ったり偏食したりなど、その子によって

表れ方はさまざまです。自分の身の丈にあったバランスが取れないことがあります。

③ 言動、態度、行動などの変化

さまざまな情報が手に入り、親や周りの大人の知らないようなことを知ったり、できることが増えるために、自信を持ったりする半面、自分の行動や態度などに自信が持てずに、考え方、態度、言動などが変わってきたりもします。

今まで「口答え」をしたり態度も悪くはなかった子がいきなり、親を驚かすような品のない言葉や態度を取ったりもします。自分の気持ちに反することには、いけないことと分かっているのに、言動に出てしまうこともあります。

このあたりが親御さんとしては一番驚かれることだと思います。性教育に出かけると子どもたちは、ペコと頭を下げてくれたり、「コンニチハ」と声をかけてくれます。しかしいったん講義が始まると、ざわざわ、こそこそ、下を向いたままなど、さまざまです。恥ずかしそうで一方、聞いてみたそつで…でもみんなの前で意見など到底してはくれません。「興味ねえよ」と言いたげな表情をしています。

からだの変化の大きい時期です

- 第2次性徴の訪れとともに、大人らしい体つきになっていきます。
- 男子は射精、声変わり、ひげが濃くなるなどの変化、女子では初潮、乳房の発達やからだ丸みなどの変化。身長も15cmから30cm伸び、体重も2kgから30kg増加するなど、大きなからだの変化がはじまります。子どもから大人の体への変化は、つづれる期間が長いので、変化に慣れ、無理して大人の真似をしないで！ キスやHの経験が大人になることではありません。嫌なら嫌といえる勇氣が必要です。性感染の危険妊娠の危険



ど)まらず、鼻が低いのは、身長が低いのは、成績が悪いのは、運動神経が良くないのはなど身体の特徴まで親が悪いと思ってしまうようになります。

中学生の時期は、良いこと、悪いこと、どちらにしても人生の中で一番いろいろな影響を受けます。また、あまりに急な変化で周りの人も驚かされることが多く、親も悩みが多くなると思います。

しかし、動揺したりすることはあっても、子どもの前では、できるだけそういう態度を見せないで、しっかりと見守ってあげてください。そして、親はいつもあなたの味方であることを、言葉や態度で伝えてあげてください。

- 【参考資料】
- 松本 清一 1967 思春期の知識、共立出版
 - 井上 太郎 1976 生体としての女性と男性 からだの科学、67、105－109
 - 藤永 保 1992 現代の発達心理学 有斐閣
 - 福田 恵美子 2005 人間発達学 中外医学社
 - 笠原 嘉 他 1976 今日の青年の精神病理象 弘文堂

しつけは大切ですが、「叱ることで、子どもを**恐怖**で押さえつけたとしても、その**効果は一時的**です。上手な叱り方のヒントは「叱られる側」の子どもの立場になって考えることです。子どもの心や身体に傷をつけるような叱り方は、信頼関係どころか、子どもは親に対して、**憎悪**の念を抱くようになります。正しいしつけは子どもへの大切な贈り物。感情にまかせて叱ることとしつけとは違います。

思春期の子どもは心も身体も大人ではないけれど、全くの子どもでもない。言うことを聞かないのは、子どもの自立が始まった証拠。むやみな干渉やお説教はできるだけ控えて、子どもの力を信じながらあたたかく見守りましょう。今まで以上に会話などを通じて関(かか)わる努力が欠かせません。行動の結果、責任が伴うことを自覚させることも大切です。

親が子に期待するのと同じくらい、子は親に期待している。

親が**子どもを思いやる**のは当たり前と思われていますが、どれだけ親が実際に子どもを思いやっているでしょう。思いやりとは、子どものことをよく知ることです。よく耳を傾け、子どもの中の世界がどんなものなのかを理解しようとし、たとえ自分の思う通りでなくてもその子の世界を受け入れることです。

子どもの存在に感謝し、尊敬を払い、愛情を深めていくことによって、親子の関係は進歩していきます。思いやりの心をもって接すれば、話をするのが安心で楽しくなり、いじめなどの悩みも自然に親に打ち明けられるようになるはずです。

文部科学省発行 平成20年版家庭教育手帳イキイキ子育て東京版より抜粋

④ いじわるの矛盾

自分のことを、人にもっと知ってほしいという気持ちと、心の中を知られるのを嫌がるという矛盾した状態が起きたり、他人の目に映る自分のことが気になったり、友人と同じようにありたい、人から認められたいなど願望や不安が生じて、他者を意識するあまり、緊張し萎縮し閉じこもってしまうこともあります。親が「どつしたの？」なんて聞くものなら「ウルサイ」「ほっといて」などと暴言を吐くこともあります。本音は聞いてほしいし、自分の変化に気がついてくれていることに安心しているのに…裏腹なところ(大人のようで子ども)。

⑤ 友人関係

友達との関係を今まで以上に大切に、家族のつながりが煩わしく窮屈なものに感じられ親や先生よりも、信頼のできる友達に悩みを打ち明けたり、一緒に行動したりするようになり親から精神的、情緒的に独立してゆきます。そして集団での行動が目立つたり、良い事、悪い事、一人ではできないこともグループではできる、悪い事に至っては



性教育講演会の様子

いけないと分かっているにもかかわらず、仲間でなくなることに、連帯感が持てなくなることに不安を感じてしまうことが多くあります。

⑥ 身体と心の変化

中学生になると、見た目でも分かるように、身体の変化が出てきます。いやだなしに膨れ上がってくる性的な関心を持つ時期でもあります。また「自分はもう子どもではない」という自覚から、反抗的になったりするようになります。また、水着を着るのを嫌がる。胸の膨らみが目立つ体操着を嫌がるこ

となどがあります。このようなことからコンプレックスをかき立てられることもなります。

性教育の講義が終わると、「どつして…」「なんで大人の中には性の商品として小学生や中学生を見るの?」「大人になるということは、パートナーに責任が取れるということですね」「はっきり嫌と言え自分になります」「先生に当てられたのに答えずごめんない」とか感想をくれます。中学生に対する性の話は大人になりたい自分と、なりたくない自分、受け入れられない身体の変化と子どもの成長発達とは個人差があり集団で話をするには限界があるのかもしれない。やはり家庭での親御さんとのコミュニケーションを通してのところが身体に関するお話は重要だと思います。

⑦ 比較

「自分だけみんなと違つ、ダメなんだ」。友人と比較して少しでも違つと「自分だけ」と考え簡単に絶望してしまいます。人のことがすごく気になる半面、自分への関心も高まります。そして情報がありすぎてそれによって、自分と人をいろいろなことで、比較するようになります。

成績についても中学生にとっては悩みの種です。成績が良い＝上位の子、成績の悪い子＝下位の子と比較されることがに戦々恐々としていることは確かです。そして「どつせ勉強したつて」「いまさら勉強したつて無駄」とか親をがっかりさせたりするのですが、お子さんは友達と同調しながら比較し、自信のなさや不安な思いでイライラしたり緊張したり学校に行くことが嫌になったりと思っていることが多いようです。

Ⅳ 子どもとの付き合い方

イライラした子どもに「とりあえず高校へ」「人並みに」…。しかしこの状態は高校に入学したからとしても解決するものではありません。子どもは自分がダメだったからと自分を責める一方、「親の言った通りにしたのに」「あの時に命令した、だから間違つたんだ」などと自分の思いが叶(かな)わなかったのは、親のせいと思ひ言葉に出す子どももいます。これは特別なことではなく成長・発達している子どもなら通る道ともいえます。自我が育つうちに自分の責任において…といった思考が育ってきます。ここで過干渉であったり、支配しようとすると思つた通りに上手(うまい)くいかないのは親のせいだけに留(とど)ま

青年期の危機と

家族の対応



青年期とは

青年期とは、精神医学では12～23、24歳の時期をいい、児童期に引き続く時期を指します。一般的にその前半は思春期であり（個人差があり、女子では10歳ごろから思春期と言える場合がありま
す）、また青年期自体は、青年期前期（約12～15歳）、青年期中期（約15～18歳）、青年期後期（約18～23、24歳）からなります。精神発達においては、児童期後半が精神状態としてはかなり安定した時期であり、児童は家庭や学校の保護という枠内で集団をつくり、自我への意識も希薄なため葛藤（かつとつ）も少なく比較的安定した日々を過ごします。
それとは対照的に青年期に入ると、

お話

藤巻康一郎さん

知のコーナー

* 中学生の時期に関すること



【ふじまき こういちろう】
県立広島大学 保健福祉学部
作業療学科准教授
専門分野: 精神神経科学
キーワード: 精神薬理学

精神状態は不安定な状況となります。そして、この時期にどのような発達が見られるかというと、体の面では、性ホルモンの分泌による性的成熟が最も目立つた発達となります。第2次性徴として女性では乳房や臀部（でんぶ）のふくらみ、男性ではひげや低い声などが含まれます。心の面では、知的レベルの上昇、性衝動増大、自我同一性の確立が特徴となります。もちろん、体と心は密接なつながりを持ち、体の性的成熟が性的感情、特に異性への興味、関心の増大に強く関連していることは言うまでもありません。そして、先に挙げた青年期は成人への移行過程ですので、その心や体の急激な変化によって人生の中で、最も不安定な時期の一つであると言ったことができます。

次に、青年期の心の特徴について述べますと、同世代の仲間の意見に敏感であり、常に自分と仲間とを比較し、その仲間からの逸脱を恐れ、いかなる逸脱も劣等感や自信喪失につながる可能性が高い時期と言えます。また、感情面から見ると、情緒性の活発化に伴い、感情は不安定で喜―悲、愛―憎の両極を揺れ動きやすい点が挙げられ、自我が傷つきやすく些細（ささい）なことで容易に自信喪失や劣等感を抱きやすい期間と言えます。

青年期の危機

先にも述べましたが、青年期は児童から成人に移行する期間で、性的成熟、自我の確立、社会的自立などの問題を

処理していく時期であるので、そのような処理がうまくいかない場合は不適応状態となり、神経症の諸症状を示すことがみられます。

ここで自我とは何かについて説明します。自我は能動性・単一性・同一性・境界性の4つの様式からなるもので、能動性とは行動する際に自分自身でやっていく意識を指し、単一性とは自分は一つであるという意識、境界性とは自分は他者・外界から区別されるという意識を指します。そして最後に同一性ですが、これが青年期で確立すべき重要な自我の様式であり、自己が一貫し連続している感覚を指します。より詳しく説明すると、人は属する社会、家族、性別、職業など異なる区分けからみた自分自身をもっており、他者と相互に関（か）

わりながら生きていく中で自分を時や場所に応じて使い分けています。そのような多面的な自分を統合し、一貫した自分を保ちながら生活しているわけですが、このことが同一性という自我の様式の中で最も重要なものを指すわけです。それは、過去の自分と現在の自分との連続性も含み、また他者から映る自分と自分が考える自分との一貫性も含んでいます。つまり「自分は誰か、何であるか」ということを同一性は示しています。

青年期はこの同一性の獲得において重要な時期であり、自分の存在が社会の中でもつ意味・価値、自分の役割、人生の目的を考え、自分のあるべき姿としての自己像を確立していかなければならない時期であるため、この自己像を確立していない状況、つまり自我同一性の確立に失敗すると種々の障害が生じやすくなります。障害として、内的葛藤が大きくなり、自分は何者でもないという感覚に陥ったり、確信をもてて生きていくことが難しくなります。この同一性危機の状態になることを特に「青年期危機」※と言いますが、これはクレッチマー（Kretschmer, E.）が導入した概念であり、青年期に一過性に統合失調症類似状態を示すものを呼んでいます。ただし、この青年期危機では



なくても、社会からの承認を失ったり、またその承認を得られそうにないと感じた場合は、否定的な自己同一性を獲得することとなり、落ち着きなく、怒りっぽく、非難がましいことなどの状態が現れることがあり、このような状況においては、不登校や家庭内暴力、摂食障害、非行、犯罪が出現しやすくなります。
※青年期の諸困難を単純に意味する場合もある

親の対応

親子の間の間には世代間のギャップが存在することは言うまでもありませんが、このギャップは、人生において経験するエピソードの違いと、このよ

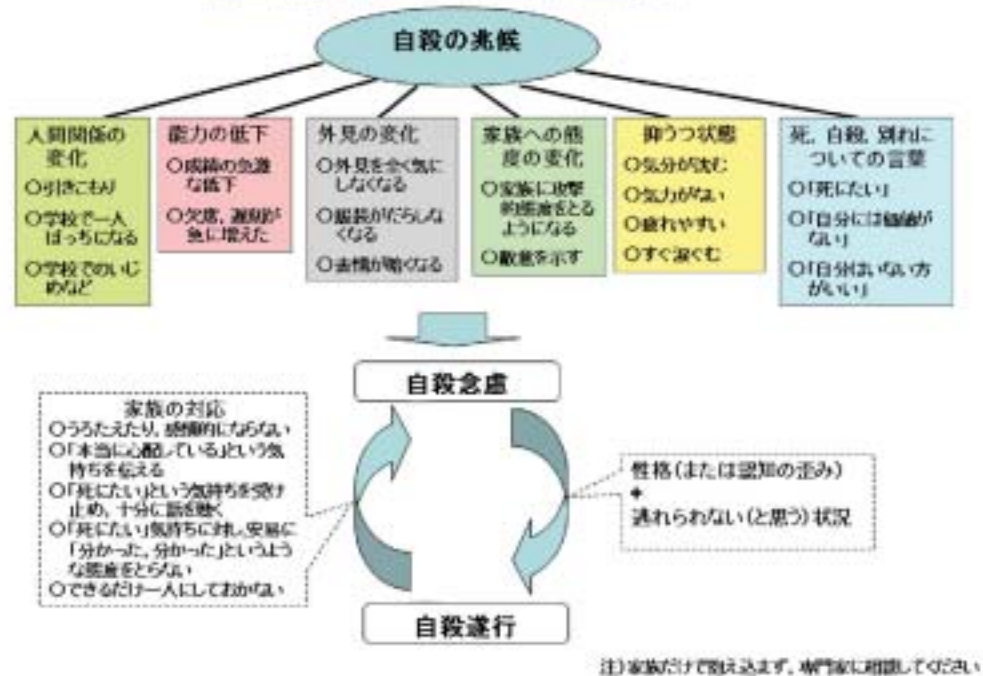
周囲に

「素直でよい子」として扱われた子ほど、自分本来の自我を再構成する際に困難を抱え、

「青年期危機」に見舞われる可能性があります。

者から見れば「素直な子」として育つこととなります。しかしながら、青年期に入るとその子本来の自我を獲得しなければならぬため、自前でない自我から自分本来の自我を再構成するという段階に入ります。その段階に入り、養育者の価値規範を取り込みすぎた子（周囲には「素直でよい子」として扱われた子）ほど、自分本来の自我を再構成することに困難を抱え、先に述べた「青年期危機」に見舞われる可能性があります。しかしこのような危機でさえも、それまでに培った親子の間に基本的信頼関係があれば、紆余（うよ）曲折を経ながらも時間の経過とともに克服されていくこととなります。また、世代間のギャップや経験するエピソードの違いを理解し、子どもの変化を受容する意識を持つよう心がければ、子どもは本来の自我を少しずつ獲得し、成人へと移行していくこととなります。

青年期自殺の兆候と家族の対応



「子どもからのシグナル」のチェックポイント

- 1) 人間関係の変化。「一人ぼっちでいることが多くなった」「引きこもりがちとなった」等は対人関係の変化を意味しています。
- 2) それまでできていたことができなくなる状況は要注意です。「欠席や遅刻が急に増えた」、「成績が急に下がった」「作業効率が急に下がった」などの急激な能力の低下は注意が必要です。
- 3) 服装や外見を全く気にしなくなったり、服装などが急に乱れるようになった場合も要注意です。また、以前と違い、表情が暗くなった場合も要注意です。
- 4) それまで家族や周囲には示さなかった敵意や攻撃的態度を急にとるようになることです。特に、尊敬の念をもって接していた人たちに急に反抗的態度をとる場合は注意が必要です。
- 5) いわゆるうつ状態になったときは要注意です。最近、近親者との別れ、成績低迷、挫折体験などのエピソードがあり、そのために「気分が沈んでいる」「疲れている」「気力がない」様子が周りからみても感じられる時はシグナルの一つとして注意が必要です。また、些細なことで涙ぐんだり、怒り出したりというような感情の変化が激しい場合も注意が必要です。
- 6) 死、自殺、別れに関連した言葉を示したり、ほのめかすことがみられたら、当然要注意です。

青年期の自殺

青年期心性と自殺との関係は、他の年代よりも密であり、この時期に自我の獲得が何らかの理由でうまくいかなかった場合は、否定的な自己同一性を持ち、状況や自己に対する認識に否定的要素を多く含むようになり、自殺念

慮への結びつきが比較的容易な状況となります。否定的な自己同一性として表現されるものとしては、対人関係形成の障害(拒絶、引きこもり等)や将来への悲観が挙げられます。対人関係がうまくいかない状況に置かれれば、その摩擦を回避するために、いわば防衛的に引きこもりの方向にいくことが考えられ、また将来への悲観が強ければ、

情緒的に安定方向にもたらず「大丈夫だろう」といった楽観性をほとんど持つことが困難な状況になり、極端な場合は自己破壊的な反社会行動へといつてしまつ可能性がでてきます。そして、その破壊的行動の一つとして自殺があります。「自殺」について考えること自体は稀有(けつ)なことではありませんが、それを遂行することは別次元にあり

ます。自殺遂行においては、青年期では計画性をもって用意周到に遂行することと珍しく、自殺念慮と自殺遂行の間にはある程度の距離があり、この両者間においていくつかのシグナルを表出します。家族や周囲の人たちにとってはこのシグナルを見逃さないことが重要であり、上記にそのシグナルを記載します。



青年期と自殺との関係は、他の年代よりも密であり、自殺念慮への結びつきが比較的容易な状況に…

【参考図書】

- Sadock BJ, Sadock VA「Kaplan and Sadock's Synopsis of Psychiatry ; Behavioral Sciences/Clinical Psychiatry, 9th edition. Lippincott Williams & Wilkins」Philadelphia 2003 井上令一 四宮滋子 (監訳)「カプラン臨床精神医学テキストDSM-IV-TR診断基準の臨床への展開 第2版」メディカル・サイエンス・インターナショナル 2004
- 生田 孝著「青年期心性の臨床」金剛出版 2000
- 大熊 輝雄著「現代臨床精神医学 第10版」金原出版株式会社 2005
- 臨床心理学 第2巻第6号 金剛出版 2002

思春期の子どもたち



「親の心子知らずなのか、
子の心親知らずなのか」

お話 ● 細羽 竜也さん

今どきの思春期のお子さんは
忙しい

小学生高学年から中学生にかけて、子どもは思春期（青年期前期）という発達段階に入ります。このころから、第二次性徴期を迎え、身体的な発育が著しく増進する一方で、身体的な発育に精神的な発達が進まず、一般的に、情緒的に不安定な態度・振る舞いを示すと言われています。マス・メディアに報道されることの多い学校問題も、この時期のお子さんに関連することが多いですね。「いじめ」、「不登校」、「非行」、「暴力」などは、もう数十年、学校問題

として取り上げられて、いまだに解決の方向に向かっているように思えます。最近では、さらにインターネットはおろか、「ケータイ」電話の学校での使用についても、社会的に物議を醸すようになりまして、いすれも、このころのお子さんに関連している話題です。

お子さんが思春期を迎えると、養育者の意識も変わってきます。かつて就学前から中学生の養育者にアンケート調査を行ったところ、お子さんが保育園や幼稚園に通っていたころや小学校低学年くらいまでは、養育者はお子さんのしつけ・教育や友人関係などに気を配っているのですが、思春期のお子さんがいる家庭では、専ら子どもの進

路・将来が1番の懸念として取り上げられていました（ちなみに、教育費の心配もお子さんの年齢に応じて上がっています）。

平成18年に、青少年育成三原市民会議が行ったアンケート調査によると、小学5年生の37.3%、中学2年生の54.8%が学習塾に通っており、そのうち週3日以上学習塾に通っているお子さんは、小学5年

生で30.0%、中学2年生で35.8%ほどいました。多数派ではありませんが、学校以外の生活時間の多くを勉強に充てているお子さんが意外に多いことがわかります。勉強だけではありません。他の習い事や部活などを含めると、週のうち1日でも予定があるお子さんは、小学5年生で84.2%、中学2年生で94.3%になります。そのうち、週3日以上、課外活動の予定がある小学5年生は59.6%、中学2年生は91.9%にのびります。

いるお子さんがおり、ストレスが高まりやすい環境にあることを理解しておく必要があります。

親子の対話は
できていますか？

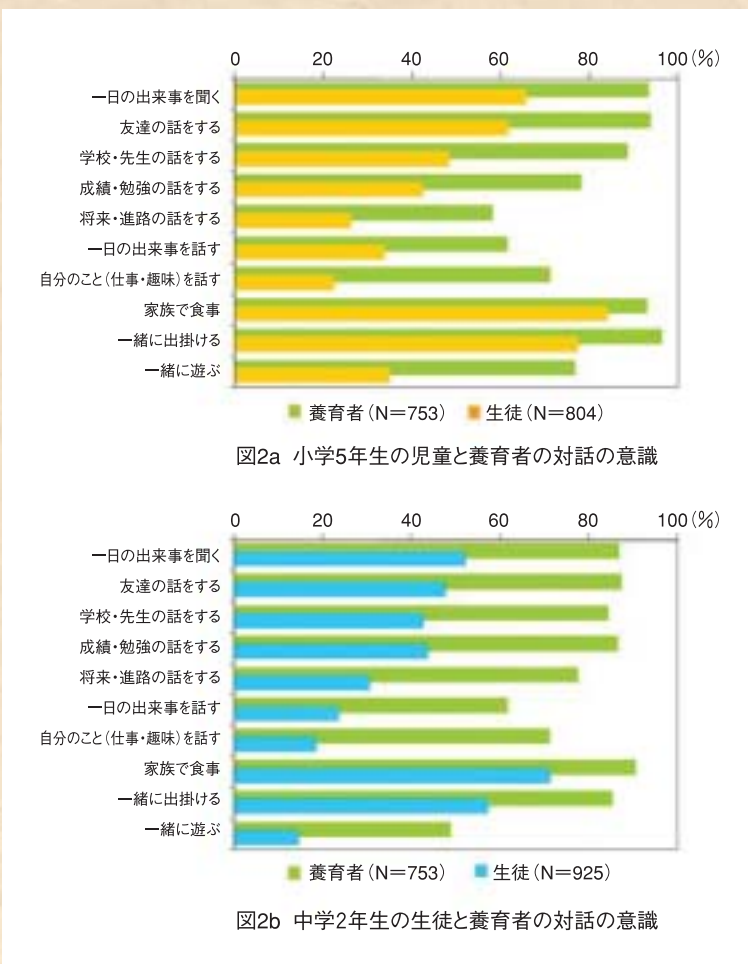
思春期のお子さんが忙しいとして、

昨今の社会的な情勢では、養育者の方々も大変お忙しくされている状況です。そのような中で、親子の対話はできているのでしょうか。

小学生や中学生は、このような課外活動にどの程度の時間を費やしているのでしょうか。図1には、課外活動がある日とない日の平日でのお子さんの帰宅時間を時間帯ごとに頻度（パーセンテージ）で示しています。課外活動が特

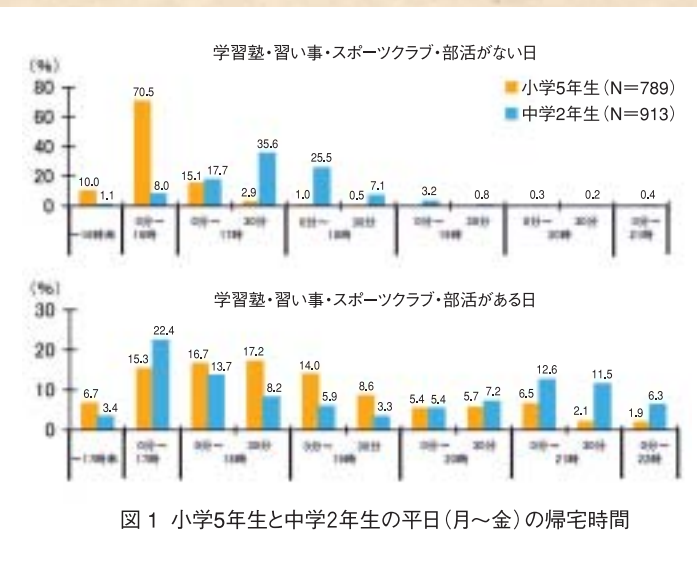
にない日には、小学5年生の80.5%が17時までに帰宅し、19時までには全員が帰宅しています。中学2年生では、95.1%が19時30分までには帰宅しています。一方、課外活動がある日には、小学生・中学生ともに帰宅時間が不規則で、21時以降に帰宅するお子さんは小学5年生で10.5%、中学2年生で30.4%と、勤労者と同様以上の予定をこなしているお子さんもいます。

思春期のお子さんには、そもそも私たちの常識以上に忙しい毎日を送っているお子さんがおり、



お互いの言いたいことが
双方で十分受け止め
きれていない状態!

そもそも私たちの常識以上に
忙しい毎日を送っているお子さんがおり、
ストレスが高まりやすい環境にあることを理解して…



勤労者と同様以上の
予定をこなしている
お子さんも!

知の
コーナー
* 中学生の時期に *
関すること



【ほそば たつや】
県立広島大学 保健福祉学部
人間福祉学科准教授
専門分野:行動科学・健康心理学
キーワード:精神障害、ストレス
マネジメント、心理アセスメント

お子さんたちは、どんな悩みを誰に相談しているのでしょうか。「将来や進路のこと」・「勉強や成績のこと」・「友達のこと」・「おうちの人のこと」・「恋愛のこと」・「性のこと」・「自分の健康のこと」の7項目について調査した結果、小学5年生の相談相手は、圧倒的に「お母さん」でした。ただ、「恋愛について」・「性のい」については「誰にも相談しない」ということが1番多い選択であり、次いで「恋愛について」は「クラスの友達」に相談する場面が多く、「性のい」とは「お母さん」に相談しています。

中学2年生では「将来や進路のい」・「勉強や成績のこと」・「自分の健康のい」では相談相手に「お母さん」を選

お子さんの相談ニーズと相談相手

対話は自分から働きかけるだけではなく、相手の話をよく聴くことで成り立つものです。話しかけることよりも、むしろお子さんの言葉に耳を傾けることが重要なのではないのでしょうか。



親子がきちんと向き合い、対話をするだけで、お子さんの意識が変わります！



図3a 小学5年生の生活肯定感と将来展望 (N=256)

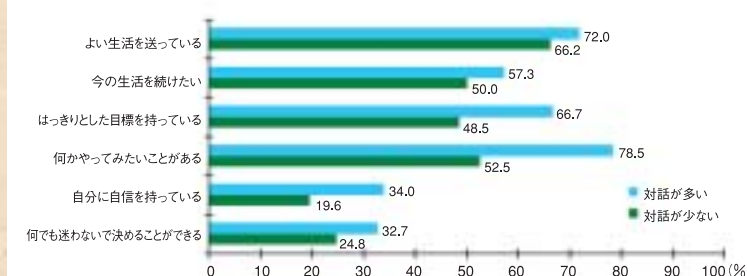


図3b 中学2年生の生活肯定感と将来展望 (N=420)

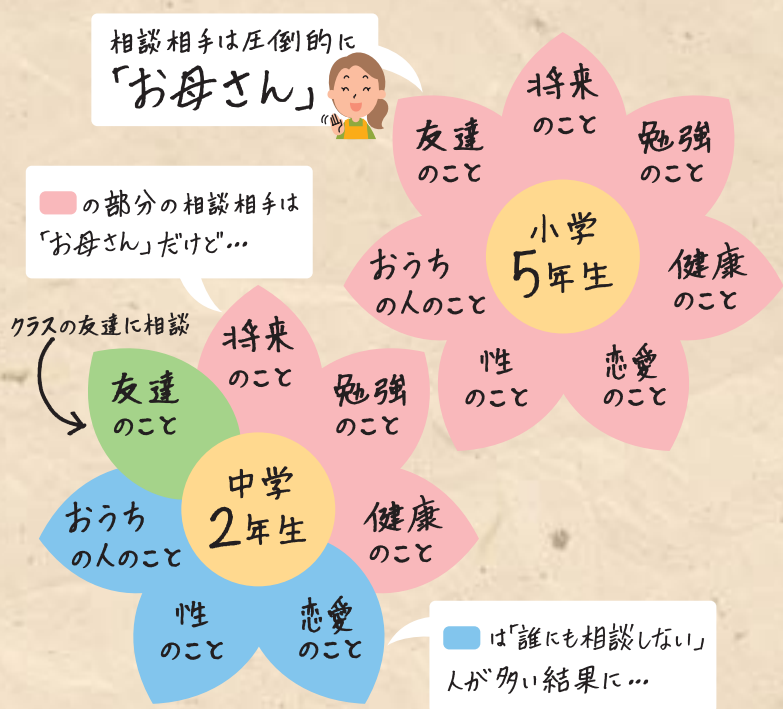
親子の対話とお子さんの生活肯定感

識があるようです。お子さんに話したいことがある場合や、お子さんの方にも大切なことだけでもなかなか養育者には話せない事情があるのかもしれないときに、このような結果が生じる可能性があります。

27ページの図2aには小学5年生のお子さんと養育者の方との対話に関する質問項目で、「とてもよくする」「ややよくする」と答えたお子さんと養育者の方との比率を各々に示しています。図2bは、同様に中学2年生のお子さんがあるご家庭の調査結果です。

項目にもありますが、小学生・中学生の養育者の方の大半は、親子の対話に努めていると考えられているようです。ところが、お子さんの方の認識では、小学生・中学生ともに養育者と約10%～20%程度、対話の経験が低いとの認識があるようです。お子さんに話したいことがある場合や、お子さんの方にも大切なことだけでもなかなか養育者には話せない事情があるのかもしれないときに、このような結果が生じる可能性があります。

お子さんの相談相手は？



最後に...

「親子の対話」がお子さんの成長にとって重要であることはあらためて確認するまでもありませんが、忙しい毎日の中で対話を適切に継続することは意外に難しいものです。また、中学生に入ると、お子さん自身にも養育者に打ち明けたい悩みとそうでもない悩みがあり、お子さんを理解することも難しいかもしれません。無理に理解しようとせず、お子さんと共に過ごす時間を確保していくことが対話の第一歩として大切です。

無理に理解しようとせず、
お子さんと共に過ごす時間を
確保していくことが対話の第一歩

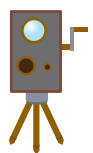
「親子の対話」が多いグループと少ないグループの違い

親子の対話が多い と...

子どもが

- ◎今の生活に肯定的
- ◎自律的に

さて、対話が十分ではないと感じているお子さんの現在の生活に対する肯定感はどうなるのでしょうか。図3aと図3bに、現在の生活を肯定的にとらえている小学5年生と中学2年生のお子さんの比率がそれぞれ示されています。「親子の対話が多い」とお子さんが感じているグループと「対話が少ない」と感じているグループの違いを検討すると、小学5年生では、親子の対話が多いと、今の生活に肯定的なお子さんや自律的なお子さんが増えるようです。中学生になると、現在の生活よりも将来の生活の方に意識が向くためか、自律的な項目に、親子の対話量の違



蔵本順子お勧め cinema

風と共に去りぬ



1939年、アメリカ映画
ヴィクター・フレミング監督作、
主演はヴィヴィアン・リー、クラ
ーク・ゲーブルなど

マーガレット・ミッチェルによる同
名の世界的ベストセラー小説を映画
化、全編で3時間42分の大長編映画。
舞台は1860年代、南北戦争に揺
れるアメリカ。ジョージア州タラの
大地主の娘スカーレット・オハラ
の半生を、彼女を取り巻く人々と共に
壮大に描いた作品。映画史上、最も
ぜいたくで最も愛されたラブ・スト
ーリーといわれる。

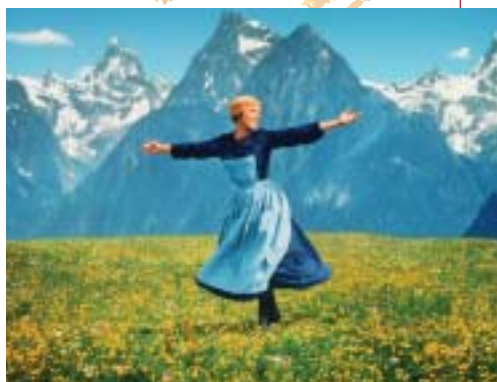
ローマの休日



1953年、アメリカ映画
ウィリアム・ワイラー監督作、主
演はオードリー・ヘプバーン、グ
レゴリー・ペックなど

ヨーロッパ最古の王室の王位継承
者・アン王女とアメリカ人の新聞記
者との切ない一日の恋を描いたロマ
ンチック・コメディー。テレビの泉や
真実の口など、イタリア・ローマの美
しい観光スポットが登場すること
でも有名。世紀を超えて世界中の人々
に愛され続けている恋愛映画の最
高傑作といわれる。

サウンド・オブ・ミュージック



1965年、アメリカ映画
ロバート・ワイズ監督作、主演は
ジュリー・アンドリュース、クリス
トファー・ブラマーなど

マリア・フォン・トラップが自らの
半生をつづった自叙伝「トラップ・フ
ァミリー合唱団物語」をもとにした
ミュージカルを映画化。1938年、
オーストリアのアルプス地方を舞台
に、志願修道女のマリアが、トラップ
大佐の7人の子どもの家庭教師と
なり、愛情と音楽で一家に明るさを
取り戻す。「ドレミの歌」「エーデル
ワイス」などの佳歌にもあふれ、ミュ
ージカル映画の最高傑作の一つとい
われる。



【Junko kuramoto】

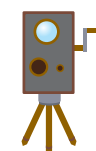
広島市生まれ。
広島市中区でそれぞれの個性を持つ「4
姉妹映画館」(サロンシネマ1・2、シネツ
イン1・2)を経営。主にアート系と呼ばれ
る芸術性・文化性の高いものから、全国
一斉ロードショー作品まで幅広い作品を
上映し、広島の映画文化の振興に貢献。
広島県興行生活衛生同業組合理事長。
趣味は日本舞踊。師範名は花柳比呂彦。
「彦の会」会主。(社)青少年育成広島
県民会議理事

蔵本順子さんのエッセイ

10代のための 映画講座



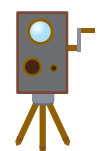
「ハートに灯をつけて」



映画館を経営する
家庭に生まれ…

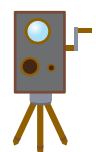
思いかえせば、無意識のままに数多く
の映画を見ていた少女時代―。
映画館を経営する家庭に生まれたこと
を、心から嬉(うれ)しいと感じたことが
あっただろうかと追憶してみると、全く
逆でした。何故(なぜ)かと言えば、映画
は時間つぶしの娯楽映画にしか思えな
かつたからです。少女時代の私は、たしかに
それくらい意識しか持ち合わせていな
かつたのです。

しかし、遠い日の熱い思いは、自分自身
のハートの奥深く、しつかりと刻まれて
いたのです。



少女時代に見た
名作へのトキメキ

20代は映画から距離を置いた位置にあ
りましたが、父から映画館を継いでほ
しいと要請があり、映画館の仕事をひと
ひとつ、小さなことからこなしていくな
こととなります。日を重ねるごとに、そ
れぞれの映画の素晴らしさ、奥の深さに驚
き、かつてハートのどこかに眠っていた熱
い思いがよみがえってきました。



映画は「人生の師」

少女時代、見た名作「風と共に去りぬ」
や「ローマの休日」や「サウンド・オブ・ミ
ュージック」のトキメキでした。

現在、50代後半の私は、女性としての体
験をほとんどしているので、新作であろ
うが、旧作の再見であるうが、1本の映画
が「人生」そのものに感じられます。映画
は「人生の師」であり、ときに眠りかける
「感性の刺激剤」となって、毎年、年間30
0本以上見ています。

同じ時代、同じ時間、同じ場所で、共有
、共感することができなのが映画です。残
念ながら、共有、共感することが失われ
つつある時代のような気がします。

一番感性豊かな10代の時に、他人との
連帯の中で見てほしい。同じ映画でも、一
人で見ると感動と、共有して見る感動は、感
動が倍増します。映画を見て泣いたこと
がないのも問題です。いい映画に、もしか
したら出会えていないのかもかもしれません。
学校や家庭で学べないものが映画には
いっぱい詰まっています。理解しようとか
思わないで、無心に、数多くの映画を見て、
10代のハートに灯をともししてほしいもの
です。

■たまり場と問題行動について「居場所を求める少年たち」

非行等の問題行動を誘発するおそれのある場所について、最も多かったのは「コンビニエンスストア周辺」で、以下「公園」「駅」「ゲームセンター」「ネット・カフェ」「空き家」などが挙げられ、実際に中高生の飲酒・喫煙を誘発しているという報告もありました。

また、夜間、仕事で親が不在の「留守家庭」がたまり場となっているが、個人宅のことであり、詳細な実態を把握するのは困難であるとの声も寄せられました。「高校生の居場所がないのでは」との指摘もあり、仲間を求め、居場所を求める姿が浮かんできます。

■環境浄化活動について「継続して、ねばり強く輪を広げる」

地域での環境浄化活動については、多くの地域で「防犯パトロール」に取り組んでいることが報告され、「あいさつ・声かけ」「環境美化」等とともに、地域ぐるみの取り組みが青少年健全育成への一歩であるという意見が寄せられました。またこうした活動は、組織としてねばり強く継続することが求められ、その輪を広げることで、子育て中の親が活動する部分が大きくなればという提言もありました。

■今後の活動に対する提言「横のつながりを!」

青少年育成県民運動については、多くの方から、青少年育成にかかわる多くの団体との横のつながり、連携・情報交換などを望む声が寄せられました。情報を集約し、地域にフィードバックすることで、活動をより実りあるものにしていきたいという要望もありました。

また『青少年育成カレッジ』『夢配達人推進プロジェクト』などの事業の、さらなる充実を期待する意見のほか、「大麻などに対する取り組みを早急に」「子どもたちが金儲けのターゲットとなっている」「青少年が本物の文化に触れる機会を」など、多数の貴重な意見を頂きました。

■まとめ■ 今回のモニター調査で見えてきたのは、

- 1 仲間と共に過ごしたいという青少年たちの想(おも)いに対して、その受け皿となる適切な「場」が確保されていない点です。自立に向かって羽ばたき始める大切なこの年代。禁止するだけではなく、冒険心・独立心を尊重しながら、大きな見守りの輪の中に、青少年たちの集いの場を創出していく必要性を感じます。また、夜間の仕事に従事する家庭の子どもの居場所についても提起されています。
- 2 保護者が青少年だった時代にはなかった新しいメディア、「インターネット」に対する不安と不信感です。パソコンや携帯電話は、見守る側の知識不足に加え、パーソナルなメディアであることから、大人の目が行き届きません。フィルタリングなどの措置に対する知識の周知徹底を働きかけること、そして何より“インターネットとはいかなるものなのか”を理解するための情報提供が急務であることが、具体的な意見の中から見えてきました。
- 3 多くの地域で、環境浄化活動の一環として「あいさつ・声かけ」、「防犯パトロール」が実施されており、こうした地域ぐるみの取り組みが「青少年育成の第一歩」であり、粘り強い継続と共に子育て中の親の参画が求められています。

キーワードは、「地域」、「情報」、「連携」!!

第2回 青少年育成モニター調査

結果報告

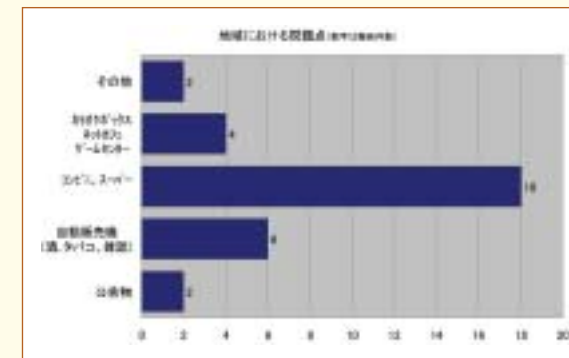
19年度に引き続き、青少年育成地域リーダー（県内168人に委嘱）による「第2回青少年を取り巻く社会環境等モニター調査」を実施し、各地域からの情報や意見をまとめました。

■地域における問題点「便利さの陰に…」

地域における問題点について、最も多かったのは「コンビニ・スーパー等」で、「深夜、青少年たちのたまり場となりやすい」「店頭に並ぶ有害図書」「未成年へのタバコ販売」などが実態として挙げられました。

次に多かったのが「自動販売機」で、人通りの少ない場所に設置された酒類の自動販売機など、未成年の購入についての対策が不十分であるという報告がある一方、地域住民の要望によって青少年に有害な図書類を収納した自動販売機が営業停止となったケースも報告されました。

また、都市部を中心に「カラオケボックス・ネットカフェ・ゲームセンター」の問題点を指摘する声があり、ゲームセンターで幼児を放置してゲームに熱中する親の姿、また「ブチ家出」の格好の場所となり得るネット・カフェの実態に警鐘を鳴らす報告も寄せられました。



■メディアに関連する問題点「顔の見えないコミュニケーション」

各種メディアの問題点について、最も多かったのは「インターネット・携帯電話」で、パソコンや携帯電話を用いたインターネットへの接続により、好ましくないサイトを簡単に閲覧できてしまうこと、顔の見えないコミュニケーションゆえの過激なやりとりからいじめに発展することを危惧(きぐ)する声が非常に多く寄せられました。ネット上のエチケット・ルールを学ぶよりも先に、気軽に情報端末を手にしてしまった青少年がトラブルに巻き込まれないよう、「大人の側がもっと知識を身につけるべきである」「業者への規制を厳しくすべき」との意見もありました。

ついで多かったのが「テレビ」に対する指摘で、いじめや犯罪を助長するような番組内容や放送時間帯等について、放送する側に改善を求める意見がありました。

また、マスメディアから発信される過激な情報（ファクション・価値観など）に、地方の若い世代ほど強く反応する実態を憂慮する声も寄せられました。

